



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月16日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/corporate>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 舜
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部 (氏名) 伊達 佑騎 TEL 03 (6416) 8905
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の業績 (2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,664	△2.0	△437	—	△436	—	△440	—
2024年2月期第1四半期	3,739	—	△380	—	△381	—	△382	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	△8.44	—
2024年2月期第1四半期	△7.72	—

(注) 1. 当社は、2023年2月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,435	454	10.2
2024年2月期	3,276	842	25.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 454百万円 2024年2月期 842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の業績予想 (2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	19,066	28.2	166	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2025年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	53,709,400株	2024年2月期	53,292,900株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	1,358,000株	2024年2月期	1,358,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	52,213,422株	2024年2月期1Q	49,554,994株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、「栄養のインフラ」としてのBASE FOODを目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注）の主食を中心としたBASE FOODシリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャンネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売を行っており、積極的な研究開発活動を通じて美味しい商品の追求、新商品のリリースを行うことで顧客層の拡大、継続率の向上を通じ成長を遂げてまいります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症収束による社会経済活動の制限の緩和や、賃上げによる個人消費の回復に対する期待など、景気回復の兆しがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の問題による原材料の高騰や世界的な金融引き締めによる急激な為替の変動などの影響もあり、依然として経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は新商品開発および商品リニューアルの積極的な展開や、食の安全安心の取り組み強化により、企業価値の向上に努めてまいりました。

新商品開発の成果として、2024年3月には「BASE PASTA たらこ」、「BASE PASTA きのこクリーム」、2024年4月には「BASE PASTA ソース焼きそば」、「BASE Pancake Mix」、2024年5月には「BASE BREAD ソーセージ」、「BASE BREAD ツナ」の販売を開始いたしました。またリニューアルの成果としては、2024年3月に「BASE BREAD ミニ食パン・プレーン/レーズン」を改良し、商品のおいしさ向上を実現いたしました。

このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップおよびクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

食の安全安心の取り組みとしては、静菌性を向上した生地開発（BASE BREADシリーズ）において成果を挙げました。従来より当社商品の生地は一定の静菌効果を有する設計になっているものの、今回の取り組みにより一定以上の菌の付着や包装の破損が仮に生じた場合にも、菌の増殖をより抑制できるようになりました。また静菌性だけでなく、生地の食感と風味も同時に改善しております。今回の生地改良を踏まえて、2024年6月製造分よりBASE BREADシリーズを順次リニューアルしております。

全体としては、上段で記述した新商品およびリニューアルによる商品力の強化、またそれらを柱とした販促の強化により、一部商品の自主回収の公表（2023年10月）以降の業績下降傾向から脱却し、成長軌道に回帰しました。

自社ECにおいては、獲得効率の回復に苦戦し、サブスクリプション会員数は前四半期比1.1万人増で着地しましたが、商品力強化により解約率と購入単価が改善した結果、自社EC売上高は2,301,080千円となりました。なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年2月期 第1四半期	2024年2月期 第2四半期	2024年2月期 第3四半期	2024年2月期 第4四半期	2025年2月期 第1四半期
サブスクリプション 会員数の推移（万人） （注）	20.1	20.4	20.0	20.6	21.7

（注）各四半期末時点

卸販売においては、引き続き主要コンビニチェーンにて高い配荷率を維持しました。店舗あたり売上高は、パンの需要期と新商品および商品リニューアルが重なったことにより、改善いたしました。その結果、卸販売売上高は1,073,428千円となりました。なお、展開店舗数および店舗あたり売上高の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年2月期 第1四半期	2024年2月期 第2四半期	2024年2月期 第3四半期	2024年2月期 第4四半期	2025年2月期 第1四半期
展開店舗数の推移（店舗） （注1）	46,385	49,044	53,406	51,091	50,808
店舗あたり売上高（注2）	8,800	9,500	6,900	5,950	6,950

（注1）各四半期末時点

(注2) 当該四半期の平均。1店舗あたりの月間売上 = リテールチャネル(卸販売)全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、2023年10月の一部商品の自主回収の公表以降抑制していた広告投資を再開しました。その結果、他社EC売上高は225,549千円となりました。

海外事業においては、2024年4月に香港の累計販売袋数が50万袋を突破する等、順調に推移しました。その結果、海外事業全体の売上高は、56,323千円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,664,282千円(前年同期比2.0%減)、営業損失は437,684千円(前年同期の営業損失は380,135千円)、経常損失は436,781千円(前年同期の経常損失は381,004千円)、四半期純損失は440,530千円(前年同期の四半期純損失は382,685千円)となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(注) 1食(BASE PASTAは1袋、BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE FOOD Deliは1袋)で、栄養素等表示基準値に基づき、他の食事で過剰摂取が懸念される脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウムを除いて、すべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は4,435,326千円となり、前事業年度末に比べ1,158,561千円増加いたしました。これは主に、運転資金を目的とした借入に伴い現金及び預金が1,152,655千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は3,980,876千円となり、前事業年度末に比べ1,546,574千円増加いたしました。これは主に、運転資金を目的とした借入に伴い短期借入金が1,400,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は454,449千円となり、前事業年度末に比べ388,012千円減少いたしました。これは、新株予約権の行使により資本金が26,299千円、資本準備金が26,252千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が440,530千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月15日に「2024年2月期 決算短信」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,430,928	2,583,583
売掛金	781,849	741,266
商品	175,050	111,525
原材料及び貯蔵品	20,102	19,280
未収入金	175,859	163,807
前払費用	68,746	109,542
その他	18,835	48,776
流動資産合計	2,671,371	3,777,782
固定資産		
有形固定資産	122,252	149,387
無形固定資産	4,414	4,284
投資その他の資産	478,726	503,872
固定資産合計	605,392	657,543
資産合計	3,276,764	4,435,326
負債の部		
流動負債		
買掛金	556,857	580,117
短期借入金	500,000	1,900,000
未払金	829,413	940,361
リース債務	1,349	1,358
未払費用	121,437	153,772
未払法人税等	16,694	4,687
預り金	50,589	41,860
ポイント引当金	13,519	3,056
契約負債	284,474	319,757
その他	29,170	2,164
流動負債合計	2,403,506	3,947,137
固定負債		
リース債務	6,905	6,562
資産除去債務	23,890	27,176
固定負債合計	30,795	33,739
負債合計	2,434,302	3,980,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,046	1,158,346
資本剰余金	2,070,122	2,096,375
利益剰余金	△2,332,522	△2,773,052
自己株式	△27,567	△27,567
株主資本合計	842,079	454,101
新株予約権	382	348
純資産合計	842,462	454,449
負債純資産合計	3,276,764	4,435,326

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	3,739,082	3,664,282
売上原価	1,899,542	1,744,084
売上総利益	1,839,539	1,920,197
販売費及び一般管理費	2,219,675	2,357,881
営業損失(△)	△380,135	△437,684
営業外収益		
受取補填金	779	1,243
為替差益	—	2,615
その他	45	746
営業外収益合計	825	4,606
営業外費用		
支払利息	1,132	3,346
支払保証料	342	335
その他	217	21
営業外費用合計	1,693	3,703
経常損失(△)	△381,004	△436,781
税引前四半期純損失(△)	△381,004	△436,781
法人税、住民税及び事業税	1,681	1,640
法人税等調整額	—	2,108
法人税等合計	1,681	3,748
四半期純損失(△)	△382,685	△440,530

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

当社は、完全栄養食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注3)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,664,234	47	3,664,282	—	3,664,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,664,234	47	3,664,282	—	3,664,282
セグメント損失 (△)	△414,661	△5	△414,667	△23,016	△437,684

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。